

令和3年度 北海道教育大学札幌校

編入学試験 問題用紙

教員養成課程 理数教育専攻 算数・数学教育分野

令和2年11月29日

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまでは、この表紙を開かないこと。
- 2 この問題用紙は1枚、解答用紙は3枚、下書き用紙は1枚あります。
- 3 「問題1」「問題2」「問題3」すべてに解答すること。
- 4 解答用紙は、「問題1」「問題2」「問題3」とともに1枚あります。
- 5 受験番号は、解答用紙の指定欄に記入すること。
- 6 解答用紙3枚を提出し、表紙・問題用紙・下書き用紙は、試験終了後持ち帰ること。なお、いかなる理由があっても解答用紙以外は受理しません。
- 7 試験中に、問題用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等により交換を必要とする場合は、手をあげて監督者に知らせること。

専門科目 (1/1)

問題 1.  $m$  行  $n$  列の実行列全体のなす集合を  $M_{mn}(\mathbb{R})$  で表す (但し  $1 \leq m \leq n$  とする)。行列  $A, B \in M_{mn}(\mathbb{R})$  に対して, 集合  $M_{mn}(\mathbb{R})$  上の関係  $A \sim B$  を  $A = PBQ$  となる  $m$  次正則行列  $P$  と  $n$  次正則行列  $Q$  が存在することとして定める。このとき, 次の各問いに答えよ。(100 点)

- (1)  $\sim$  は集合  $M_{mn}(\mathbb{R})$  上の同値関係であることを確かめよ。
- (2) 商集合  $M_{mn}(\mathbb{R})/\sim$  の完全代表系を一組求めよ。
- (3) 商集合  $M_{mn}(\mathbb{R})/\sim$  と集合  $\{0, 1, 2, \dots, m\}$  の間に全単射が存在することを示せ。

問題 2. 区間  $I$  を定義域とする関数の列  $\{f_n\}$  と関数  $f$  について, 条件

$$(*) \quad \begin{cases} \text{任意の } \varepsilon > 0 \text{ に対してある自然数 } N_\varepsilon \text{ が存在し,} \\ n \geq N_\varepsilon \text{ かつ } x \in I \text{ ならば } |f_n(x) - f(x)| < \varepsilon \text{ である.} \end{cases}$$

を満たすとき,  $\{f_n\}$  は  $I$  において  $f$  に一様収束するという。次の各問いに答えよ。(100 点)

- (1)  $\{f_n\}$  は区間  $I$  において  $f$  に一様収束するとする。各  $f_n$  が  $I$  上の連続関数ならば  $f$  も  $I$  上の連続関数となることを示せ。
- (2) 各  $x \in I$  ごとに  $\{f_n(x)\}$  が  $f(x)$  に収束するというだけでは,  $f_n$  が  $I$  上の連続関数であっても  $f$  が不連続な関数となる場合がある。そのような具体例を 1 つ答えよ。
- (3)  $a < b$  とし,  $\{f_n\}$  は区間  $[a, b]$  で定義された連続関数の列とする。 $\{f_n\}$  が  $[a, b]$  において  $f$  に一様収束するとき,

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \int_a^b f_n(x) dx = \int_a^b f(x) dx$$

が成り立つことを示せ。

問題 3.  $A$  を  $n \times n$  行列とし,  $B = {}^tAA$  とおく。次の各問いに答えよ。(100 点)

- (1) 任意の列ベクトル  $\vec{x} \in \mathbb{R}^n$  に対して

$${}^t\vec{x}B\vec{x} \geq 0$$

であること, また等号がいえるのは  $A\vec{x} = \vec{0}$  のときに限ることを示せ。

- (2) 列ベクトル  $\vec{x} (\neq \vec{0}) \in \mathbb{R}^n$  と実数  $\lambda$  に対し  $B\vec{x} = \lambda\vec{x}$  ならば  $\lambda \geq 0$  であることを示せ。
- (3)  $B$  の階数と  $A$  の階数が等しいことを示せ。